

コミュニティカフェに関する アンケート調査報告

 社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

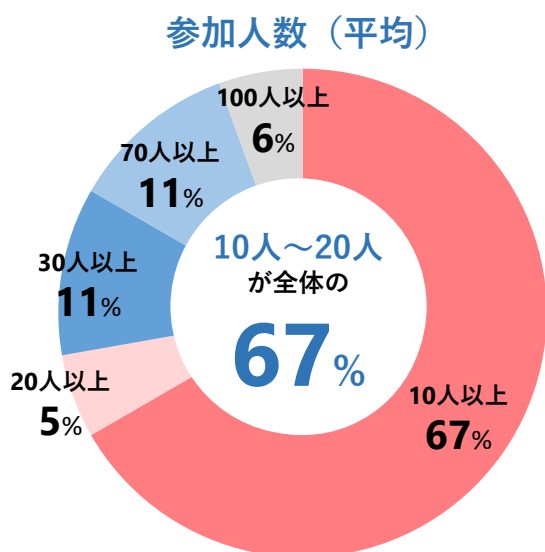
調査の内容

- 調査目的 コミュニティカフェの現状を把握し、**課題の抽出とカフェを継続するための方法**を模索する。
- 調査対象 **18** 団体
- 調査方法 面談及び電話による聞き取り調査
- 調査期間 令和 **4**年 **10**月～**11**月

調査の概要

- 参加者 … 平均人数、世代、男女比、最も多い世代、参加傾向
- 開催場所
- 開催日時 … 開催日、開催時間
- 運営スタッフ … 中心となる方、お手伝いする方
- 経費 … 参加費、助成・補助元、助成・補助額
- 運営に関する相談先
- 地域がどのように変化したか

参加者



- 世代別
65歳以上の方の参加が多い
多世代での参加は、3団体のみ
- 男女比
女性の参加が多い
- 全体的
65歳以上の参加が大半を占めており、**かつ固定化**されている。

参加者の傾向と工夫



参加者の 傾向

- **独居の高齢者**の参加者が多い
(介護予防に繋がっている)
- **幼児連れの親子や孫と一緒に**の参加もある
- **子どもだけ**の参加もある



工夫 していること

- 参加者を募るために**周知 (声かけ等)**に力を入れている
- 子どもが多く参加できるよう、**日曜日に実施**している
- **食事**を楽しみにされている方が多いため、力を入れている
- 何か**することを決めていない**
(ゆっくりと過ごしてもらいたい)
- いろんな**関係機関と連携**しながら実施している。

参加者に関する聞き取り内容



現在の 困りごと

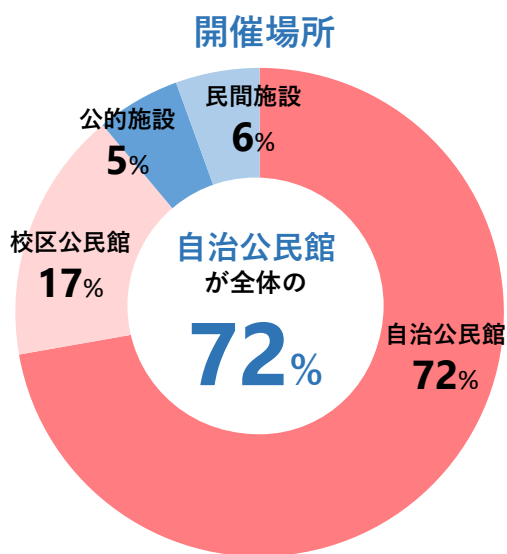
- **男性はおしゃべりや交流だけを好まない**
- **送迎が必要**な参加者がいる
- **参加者が固定**されている
- 就労支援事業所に協力してもらっているが、**買い物難民の方の支援に繋がっていない**
- 参加費を**増額できない**



変化 したこと

- 気軽に参加できる場づくりができ、今まで何にも参加できなかった方の**居場所**ができた
- 閉じこもりがちの方が、カフェ参加をきっかけに**サロンや老人クラブへの加入**に繋がった
- **関係者との連携**を図るようになった
- **顔見知りの関係**ができた

開催場所

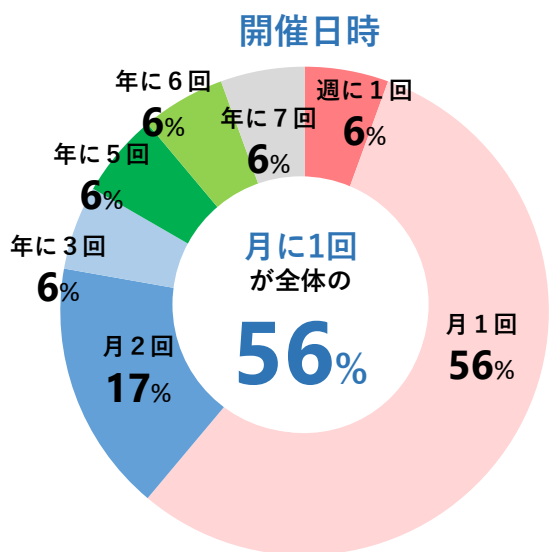


工夫

していること

- 地域の人が集まりやすいように、**徒歩で参加できる場所**
- 水道光熱費を**自治会で負担**してもらう
- 会場が広く、余裕をもって開催できる
- **おたっしや本舗の近く**で開催

開催日時



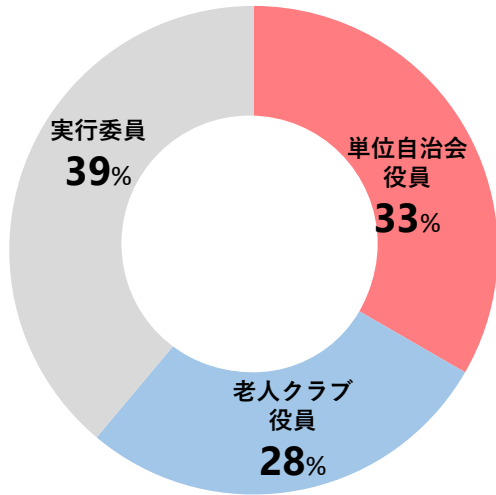
工夫

していること

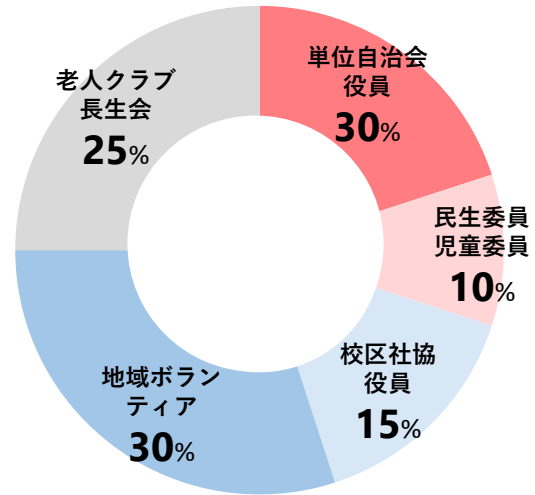
- ボランティアが運営しやすく、**子どもも参加しやすい日**に開催
- 年に数回、**子どもが参加しやすいイベント**を企画
- **回覧板や放送、チラシ**を活用
- 地域の誰が来ても受け入れる

運営者（スタッフ）

中心となる方



お手伝いする方（複数回答）



※その他、高校、就労継続支援事業所、おたっしや本舗など

運営者（スタッフ）に関する聞き取り内容①



- 協力したい人が**自主的に参加**している
- **老人クラブや長生会、自治会女性部の協力**がある
- **自治会、老人クラブ**から**協力依頼**
- 代表者からの**声かけ**
- **口コミ**で**協力**していただいている



- 校区社協や自治会からの**助成金**
- 校区社協、まちづくり協議会の**見守り部会**からの**協力**
- **福祉施設、おたっしや本舗**からの**協力**

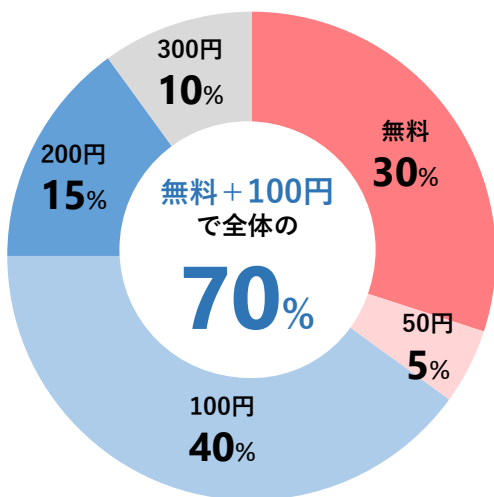
運営者（スタッフ）に関する聞き取り内容②



- 講座やクリスマス会など、毎回レクリエーションを計画しているため、**謝金に悩んでいる**
- 自治会からの助成金や参加費で経費を賄っているが、**運営が厳しい**ため、他の収入確保について検討中
- 自治会や民生委員児童委員に協力してほしい
- スタッフの**人数が足りていない**
- **後継者**が発掘できていない
- **スタッフの高齢化**により、将来どうなるか不安
- **様々な年代の方に参加してほしい**

経費（年間）

参加費（複数回答あり）

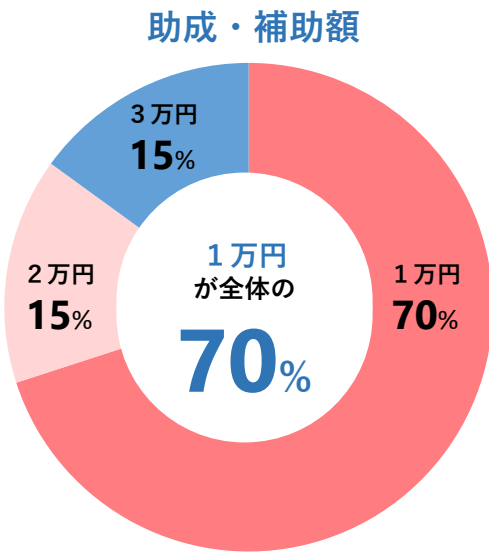
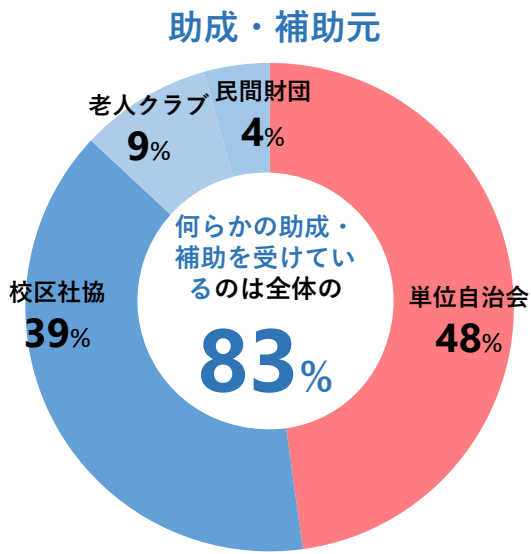


特典

- 無料
- 50円 コーヒー、茶、菓子
- 100円 コーヒー、茶、菓子
- 200円 カレー
- 300円 おはぎ

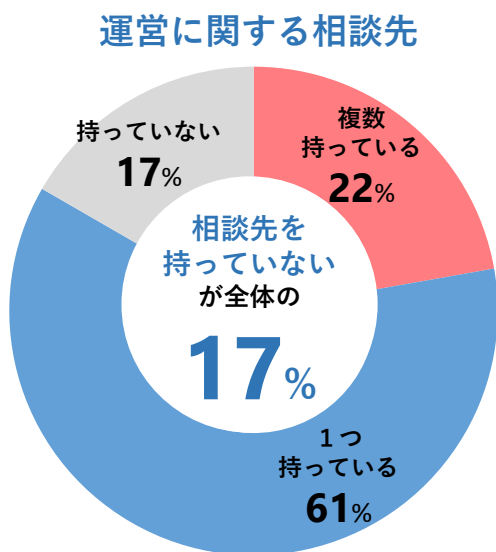
※町区内と町区外、大人と子ども、食事ありと食事なしで金額が変わるカフェもある

経費（年間）



※複数から助成を受けている場合あり

運営に関する相談先



相談先

● 相談先

単体自治会
校区社協
地域包括支援センター
実行委員など

● 相談内容

食材提供
備品
助成金
広報
開催可否など

まとめ・考察



考察

- 全世代型の居場所づくりとして、設置を推進しているが、高齢者のみが参加するカフェも多く、**ふれあいサロンとの差別化が求められる**
- 代表者をはじめ、主に関わっている方々の多くが高齢であり、コロナ禍のまま現在も休止中だったり、後継者問題を抱えているなど**長期的視点を持って取り組むことが必要と思われる**
- 相談先がない、地域団体のみという意見もあったため、本会とのつながりが強く求められている

今後の取り組み



まとめ

- 校区社協やおたっしや本舗、校区公民館などと協力し、**『お試しカフェ』を計画・実施**
若い世代にも体感してもらい、地域の独自性に合ったコミュニティカフェを**地域の方々と一緒に考えていきます**
- コミュニティカフェ同士の連携を深めるため**交流の場の開催**
- 新しく設置する場合に限らず、既設のカフェのみなさんもお気軽にご相談ください